

第4章 予防接種事業

1 予防接種

予防接種は、これまで天然痘の根絶をはじめポリオの流行の防止等多くの疾病の流行の防止に成果をあげ、感染症による患者の発生や死亡者の大幅な減少をもたらすなど公衆衛生の向上に大きな役割を果たしてきました。

感染症が著しく蔓延し、大きな被害を与えていた時代が過ぎ去り、予防接種によって獲得した免疫が感染症の流行を抑制していることが忘れられてしまいがちですが、国民全体の免疫水準を維持するためには、予防接種の接種機会を安定的に確保するとともに、社会全体として一定の接種率を確保することが重要です。なお、平成17年7月より日本脳炎については国の指示により原則接種を中止しています。

18年4月から麻疹・風疹(MR)混合ワクチンによる麻疹および風疹の2回接種制度が導入されました。

1) ポリオ(急性灰白髄炎)

- 対 象 生後3か月から7歳6か月未満の乳幼児
(標準的接種年齢：生後3か月から1歳6か月)
- 実施時期 5月、11月
- 会 場 保健センター
- 委託協力 芦屋市医師会
- 接種方法 6週以上の間隔をあけて0.05mlずつを2回経口投与(集団接種)
- 周知方法 告示、広報あしや、4か月児健診時に案内送付
- 根 拠 予防接種法

<単位：人>

実施月	対象人員	接種人員	接種率
19年5月	840	835	99.4%
11月	856	781	91.2%
18年5月	806	831	103.1%
11月	857	759	88.6%
17年5月	905	809	89.4%
11月	838	636	75.9%

2) 三種混合(ジフテリア・破傷風・百日咳)

- 対 象 生後3か月から7歳6か月未満(標準的接種年齢：生後6か月から2歳6か月)
- 実施時期 通年
- 委託協力 芦屋市医師会
- 接種方法 (1期初回) 3週間から8週間の間隔をおき0.5mlを3回皮下接種
(1期追加) 1期初回終了後6月以上の間隔をおき0.5mlを1回皮下接種

規定の接種間隔をはずれた場合は任意接種を実施。申請書を医療機関で提出。

周知方法 広報あしや、「芦屋市予防接種のご案内」を送付

根 拠 予防接種法

<単位：人>

年度	対象人員	1期初回				1期追加	合計
		1回目	2回目	3回目	接種率		
19年度	844	905	898	902	106.9%	835	3,540
18年度	859	872	876	812	94.5%	791	3,351
17年度	800	836	855	880	110.0%	781	3,352

3) 麻しん風しん(MR)混合

対 象 (1期) 生後12か月から24か月未満
 (2期) 5歳以上～7歳未満で小学校就学前1年間(7月より実施)
 実施時期 通年
 委託協力 芦屋市医師会
 接種方法 0.5mlを皮下接種(個別接種)
 周知方法 広報あしや,各学校を通じて保護者に通知
 根 拠 予防接種法

<単位:人>

年 度	時期	対象人員	接種人員	接種率
19年度	1期	905	895	98.9%
	2期	845	734	86.9%
18年度	1期	847	820	96.8%
	2期	852	670	78.6%

4) 麻しん・風しん単抗原ワクチン

対 象 麻しん・風しん(MR)混合ワクチン予防接種の第1期の対象者でどちらかの予防接種を接種済の者,またはどちらかの疾病に罹患した者。
 (未接種又は未罹患の単抗原ワクチンの予防接種をするが,罹患したかどうか不明の場合は,罹患していないものとして麻しん・風しん(MR)混合ワクチンを接種する。)

<単位:人>

年 度	時期	麻しん単抗原 ワクチン	風しん単抗原 ワクチン
19年度	1期	0	0
	2期	1	1
	経過措置	0	0
18年度	1期	2	34
	2期	1	7
	経過措置	22	90

5) 日本脳炎

対 象 (1期) 生後3か月から90か月未満
 (2期) 9歳以上～13歳未満 (標準的接種年齢:小学6年生)
 (3期) 14歳以上～16歳未満 (平成17年7月29日で中止)
 実施時期 通年(現在、接種の積極的勧奨は中止。接種希望者は副反応についての説明を受け、同意書記入の上で接種)
 委託協力 芦屋市医師会
 接種方法 0.5mlを皮下接種(個別接種)
 周知方法 広報あしや,各学校園等を通じて保護者に通知
 根 拠 予防接種法

<単位:人>

年 度	期初回 1回目	期初回 2回目	期追加	期	期	合 計
19年度	76	79	76	17	-	248
18年度	8	6	13	1	-	28
17年度	205	170	140	61	22	598

6) 二種混合 (ジフテリア・破傷風)

対 象 満 11 歳以上から 13 歳未満 (標準的接種年齢：小学 6 年生)
 実施時期 通年
 委託協力 芦屋市医師会
 接種方法 0.1ml を皮下接種 (個別接種)
 周知方法 広報あしや, 各学校を通じて保護者に通知
 根 拠 予防接種法

< 単位：人 >

年 度	対象人員	接種人員	接 種 率
19 年度	753	363	48.2%
18 年度	725	343	47.3%
17 年度	714	273	38.2%

7) 就学前の予防接種確認について
 就学前健診日と同日に教育委員会と連携して実施
 事業開始 平成 16 年度

< 単位：人 >

実施日	小学校名	対象 人数	受診 者数	予防接種 完了者	日本脳炎 接種完了者	MR 未接種者	ほとんど 未接種 (主義)
10月16日	潮見	80	78	0	3	45	15(0)
10月16日	岩園	128	126	7	10	57	16(1)
10月22日	浜風	42	43	0	2	18	3(0)
10月24日	山手	143	87	3	3	53	12(2)
10月25日	打出浜	104	101	3	3	44	8(0)
11月1日	朝日が丘	97	84	5	5	52	5(0)
11月1日	宮川	123	118	5	8	53	9(1)
11月8日	精道	117	130	6	2	58	12(0)
合計		834	767 受診率% 91.9%	3.8 (%)	4.7(%)	49.5(%)	80(4) 10% (0.5%)

8) 高齢者インフルエンザ

対 象 65 歳以上 (60 歳以上 ~ 65 歳未満で身体障害者手帳内部障害 1 級所持者)
 期 間 平成 19 年 10 月 15 日 ~ 平成 20 年 1 月 31 日
 費 用 1 回 1,000 円
 事業開始 平成 13 年度

< 単位：人 >

年度	10 月	11 月	12 月	1 月	接種者合計	対象者	接種率
19 年度	787	5,633	2,025	1,165	9,610	20,062	47.9%
18 年度	599	4,589	1,925	1,048	8,161	19,337	42.2%
17 年度	686	4,392	1,846	1,458	8,382	18,527	45.2%

2 結核予防

結核の患者数は著しく減少しており、結核への関心も低下していますが、発見の遅れは治療の長期化や集団発生につながる恐れがあるため、予防対策が必要です。予防対策の一環として各種健康診査時に結核検診を実施しています。平成17年度から法改正によりツベルクリン反応検査が中止となりました。平成19年4月1日より、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の一部改正に伴い、結核予防法が廃止されました。

1) 実施表

<単位：人>

事業名	B C G 接種				結核検診																									
対象者	3か月～6か月未満				満65歳以上																									
会場	保健センター				保健センター，上宮川文化センター その他市内13会場																									
方法	集団接種				市民健診，巡回健診，健康チェック 老人健診 時に実施																									
周知方法	広報あしや 「芦屋市予防接種のご案内」の送付				広報あしや																									
健診内容	問診及び診察後，B C G 接種				問診	胸部レントゲン 胸部レントゲン・喀痰																								
結果通知	-				1か月後文書連絡																									
	B C G 接種				レントゲン撮影																									
実施結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象人員</th> <th>接種人員</th> <th>接種率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19年度</td> <td>915</td> <td>855</td> <td>93.4%</td> </tr> <tr> <td>18年度</td> <td>869</td> <td>851</td> <td>97.9%</td> </tr> <tr> <td>17年度</td> <td>814</td> <td>814</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>				年度	対象人員	接種人員	接種率	19年度	915	855	93.4%	18年度	869	851	97.9%	17年度	814	814	100.0%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>受診者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19年度</td> <td>9,430</td> </tr> <tr> <td>18年度</td> <td>6,829</td> </tr> <tr> <td>17年度</td> <td>8,120</td> </tr> </tbody> </table>		年度	受診者数	19年度	9,430	18年度	6,829	17年度	8,120
	年度	対象人員	接種人員	接種率																										
19年度	915	855	93.4%																											
18年度	869	851	97.9%																											
17年度	814	814	100.0%																											
年度	受診者数																													
19年度	9,430																													
18年度	6,829																													
17年度	8,120																													
	19年度(再掲)6か月以上1歳未満4人				<table> <tr> <td>要精密者数</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td>要精密受診者数</td> <td>129</td> </tr> <tr> <td>異常なし</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>がん疑い</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>がん以外</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>結核</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>肺炎</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>未把握</td> <td>61</td> </tr> </table>		要精密者数	190	要精密受診者数	129	異常なし	46	がん	5	がん疑い	6	がん以外	72	結核	1	肺炎	2	その他	69	未把握	61				
要精密者数	190																													
要精密受診者数	129																													
異常なし	46																													
がん	5																													
がん疑い	6																													
がん以外	72																													
結核	1																													
肺炎	2																													
その他	69																													
未把握	61																													
	母子のどちらかに医学的理由があった場合，医師証明書と申請書兼同意書の提出にて集団接種可能(6ヶ月以上1歳未満)																													